

火災による死者発生!



令和5年12月6日、町田市本町田の集合住宅において火災が発生し、1名の方が亡くられました。

※ 写真は、東京消防庁書籍「火災の実態」より抜粋したものです

住宅火災から命を守るためにできること

電気火災

身近にひそむ
火災の危険

- プラグ、コンセントは定期的に掃除する
- タップは決められた容量内で使用する
- コードは家具などの下敷き、折れ曲がりに注意し、束ねて使用しない

こんろ

着衣への着火に注意

- 調理中に離れない
- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 防災品のエプロンなどを使用する
- 火が鍋底からはみ出さないよう調節する
- 安全機能付のこんろを使用する

ストーブ

電気ストーブに注意

- 周囲に燃えやすいものを置かない
- 外出時や就寝時は必ず消す
- 給油は必ず消してから行う
- ストーブの近くで洗濯ものを乾かさない

たばこ

死者の発生原因第1位

- 寝たばこは絶対にしない
- 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する
- 吸殻を灰皿にためない
- 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

住宅用火災警報器

～適切な維持管理を～



住宅用火災警報器は火災を早期に発見し、大切な命を守るためにとても有効です。住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどにより火災を感知しなくなることがあります。

設置後10年を目安に本体の交換をしましょう。

【資料】①[STOP! 住宅火災](#) ②[住宅用火災警報器10年交換のすすめ](#)

【問合せ先】町田消防署 地域防災担当 電話042-794-0119